

展示替え期間 （都合により予定を変更することがあります）

- 前期 9月13日(火)～10月19日(日)
後期 10月21日(火)～11月24日(月・振休)
A 9月13日(土)～10月5日(日)
B 10月7日(火)～11月3日(月・祝)
C 11月5日(水)～11月24日(月・振休)

I 「南総里見八犬伝」の魅力			
水野年方「富山の奥に伏姫神童に遇ふ図」大判錦絵 3枚続 明治19年(1886)		個人蔵	前期
歌川国芳「里見八犬伝一覧」大判錦絵 3枚続 嘉永2年～5年 (1849～1852)		個人蔵	後期
歌川豊国・歌川貞秀「大日本六十余州之内安房 里見の姫君 伏姫」大判錦絵 天保14年～弘化4年 (1843～1847)		館山市立博物館蔵	前期
登場人物 八犬士			
撰者笠亭仙果「大錦絵 八けん伝 犬の草紙之内（目録）」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852) 蔦屋吉蔵		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝犬の草紙の内 犬塚信乃戌孝」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝犬之草帋廼内 犬川莊助義任」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝犬のさうしの内 犬山道節忠與」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝犬の艸帋の内 犬飼現八信道」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝犬の艸帋の内 犬田小文吾悌順」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝いぬのさうしの内 犬江親兵衛仁」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝犬の冊子の内 舞子朝毛野実ハ犬坂毛野胤智」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝犬の艸紙の内 犬村大角礼度」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
登場人物 里見家の人々・その他の人々			
二代目歌川国貞「八犬伝犬のさうしの内 里見義實」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝犬の草紙の内 里見息女伏姫」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝犬之草帋廼内 神餘妾玉梓」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝犬の冊子の内 金椀大助孝徳」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝犬之草紙廼内 莊官臺六」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝犬のさうしの内 臺六娘浜路」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝いぬのさうしの内 浪士左母次郎」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝犬のさうしの内 毒婦船虫」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝犬のさうしの内 赤岩牙二郎」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	前期
二代目歌川国貞「八犬伝いぬの双帋の内 泡雪奈四郎」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝犬之草帋廼内 尼妙椿」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期
二代目歌川国貞「八犬伝犬之草帋廼内 里見義成」大判錦絵揃物 嘉永5年(1852)		個人蔵	後期

名場面・見どころ

歌川国芳「里見八犬伝 里見治部大輔義実 杉倉木曾介氏元」大判錦絵揃物2枚続 嘉永2年～3年（1849～1850）	個人蔵	C
歌川国芳（番作切腹の場）犬塚番作 犬塚信の 大判錦絵2枚続 嘉永5年(1852)	個人蔵	A
三代目歌川豊国（円塚山 待て）犬川莊助 犬山道節 大判錦絵2枚続 嘉永5年(1852)	個人蔵	B
歌川国芳（円塚山 道節火遁の術）犬山道節 犬川莊助 大判錦絵縦2枚続 嘉永5年(1852)	個人蔵	前期
一樹園貞升（円塚山 犬山道節）大判錦絵 年不詳	個人蔵	後期
歌川国芳「八犬伝之内芳流閣」大判錦絵3枚続 天保11年(1840)	個人蔵	A
二代歌川国貞「里見八犬伝狗草紙之内 芳流閣上図」大判錦絵3枚続 嘉永7年(1854)	個人蔵	B
三代歌川豊国「放龍閣之場 犬飼現八 犬塚信乃」大判錦絵2枚続 嘉永5年(1852)	個人蔵	C
月岡芳年「放流閣両雄動」大判錦絵縦2枚続 明治20年（1887）	個人蔵	後期
月岡芳年「一魁随筆 犬塚信乃 犬飼見八」大判錦絵 明治6年(1873)	個人蔵	前期
三代目歌川豊国画（行徳入り江の場）犬塚信乃 犬飼現八 粉奈や文五兵衛 犬田小文吾 山林房八 大判錦絵3枚続 嘉永5年(1852)	個人蔵	A
歌川国芳（行徳入り江の場）犬塚信の戊孝、犬飼現八信道、古なや文五兵衛、犬田小文吾 悌順、山林房八 大判錦絵3枚続 嘉永5年(1852)	個人蔵	B
三代目歌川豊国（古那屋の場）犬田小文吾 女房おぬい 山林房八 犬塚信乃 大判錦絵 3枚続 嘉永5年(1852)	個人蔵	C
歌川芳虎（庚申山の場 赤岩一角に化けた怪猫と犬飼現八）大判錦絵3枚続 嘉永2、3年 （1849～1850）	個人蔵	A
三代目歌川豊国「対牛楼」大判錦絵3枚続 嘉永5年(1852)	個人蔵	B
三代目歌川豊国（杳作屋敷の場）杳作娘はま路 犬塚信乃 わる者酒吞次 大判錦絵3枚 続 嘉永6年(1853)	個人蔵	B
歌川国芳（品革の原の合戦）大判錦絵揃物3枚続 天保9～10年(1838～1839)	個人蔵	C
歌川国芳（妙椿の最後）犬山道節忠與 犬江親兵衛仁 狸のせいい妙ちん せんとふ権 九郎 犬坂毛野 大判錦絵3枚続 嘉永2年～5年（1849～1852）	個人蔵	A
三代目歌川豊国「里見八犬伝惣巻尾 八小姐天縁を得ぬる図 はまち姫 しをり姫 いろと姫 をなみ姫 竹の姫 しつを姫 ひなぎ姫 きのと姫」大判錦絵3枚続 安政2年(1855)	個人蔵	C

Ⅲ 八犬伝の広がり

歌川国貞（行徳入り江の場）犬田小文吾 芸者ひな吉 団扇絵版錦絵 天保9年（1838）	個人蔵	前期
歌川国貞（八犬伝の錦絵を見る市川海老蔵と市川團十郎）団扇絵判錦絵 天保7年（1836）	個人蔵	後期
歌川芳虎「新版八犬伝かるた」大判錦絵4枚揃	個人蔵	A
二代目長谷川貞信「極しん板切組燈籠 八犬伝芳流閣の段」大判錦絵2枚 明治18年(1885)	館山市立博物館 蔵	B
富山版画「里見八犬伝 犬塚信乃 市川八百蔵 犬見源八 澤村調秀」大判 明治期	個人蔵	B
歌川芳艶「とうけ八犬伝 よしざね きその介 伏ひめ 八ぶさ」大判錦絵揃物 文久2年(1862)	個人蔵	C
歌川芳艶「とうけ八犬伝 角太郎 一角 めうちん 元ふじ 新兵彥」大判錦絵揃物 文久2年(1862)	個人蔵	C
二代目歌川国貞「見立七福 新酒之入船」大判錦絵3枚続 安政3年（1856）	個人蔵	C